

コロナ冬の対策

室内の各箇所の徹底した消毒に努めてきまして

無人時に換気をしながら、次亜塩素酸水の噴霧器を使用しております。

基本、常時窓を開けての換気をしておりましたが

冬は窓を開けての感染対策は不向きだと思っております。

気温低下により室内を温かい状態に保つのが困難。

何よりも、湿度の低下です。

富岳（スーパーコンピュータ）でも、実証された通り湿度の低下は感染率が大幅に高くなるそうです。

さらに湿度低下を招く、暖房も付けますから、窓を開けての感染対策は冬には適していません。

その為

新型コロナウイルスの不活化が証明された
オゾン装置を設置致しました！



「オゾン」という言葉は聞いたことがあると思いますが

どのようにウイルスに作用するかという点

「オゾン」の酸素原子がウイルスの膜にくっつくと、膜のたんぱく質や脂質が酸化されます。これによりウイルスは細胞に入りこむことが出来なくなるそうです。」

以前よりインフルエンザなどのウイルスや細菌に対する殺菌作用は知られており

奈良県立医科大学の研究グループにより

新型コロナウイルスに対しても不活化することが証明されていましたが人がいる環境では使えない濃度の高い研究結果でした。

しかし、今年8月末に発表されました

藤田医科大学が行った実証実験により

人体に健康被害が及ばないとされる低い濃度のオゾンガスでも

新型コロナウイルスの感染症を不活化されたことを世界で初めて実証しました。

藤田医科大学病院では9月より病室や発熱外来・救命救急室などでオゾン装置を使用しております。

今回の実験に提供したメーカー「株式会社タムラテコ」のオゾン装置を**アセルでも設置**しております。

この「タムラテコ」は業界最大手のメーカーで、藤田医科大学病院にもそうですが

東京大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院など多くの医療機関に納品しております

阿佐ヶ谷の河北総合病院にも「タムラテコ」のオゾンが設置されております。

さらに全国700台以上の救急車

に搭載され、東京消防庁所属の救急車全台に搭載されております。

人体に安全な低濃度オゾン装置を1階と2階休息時の各部屋に計3台設置しておりますので

医療機関と同レベルの感染対策というのは、少し言い過ぎかもしれませんが（苦笑）

医療機関と同じメーカーからのオゾンを設置しておりますので安心して施術をお受け頂けるのではないかと考えております。

換気扇は常時稼働しており適度に窓を開けての空気入れ替えも行います。

大手ネット通販でも、いろんなメーカーの安価なオゾンがたくさんありますが

かつて国民生活センターに苦情が寄せられ、品質に心配がありますので

お仕事場などで導入を考えている方は「タムラテコ」か、その提携メーカーから購入をお勧めします。